

NUPRI NEWS

Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人
長野都市経営研究所

Vol.50

2014.JUL.

NPO法人 長野都市経営研究所

発行/NPO法人 長野都市経営研究所 〒380-0834 長野市大字鶴賀御所町1289-1 丸本ビル2F TEL 026-235-7911 FAX 026-235-6166 http://www.nupri.or.jp E-mail: nupri@nupri.or.jp

第20回 NUPRI 定時総会開催

設立20年の記念年度。 各団体との連携、 交流を深め 「動くNUPRI」の存在感向上へ。



6月12日(木)、第20回NUPRI定時総会がホテル国際21にて会員97名のうち87名(うち委任状41)の出席により開催されました。

規定に従い、市川理事長を議長に、清水理事、愛甲会員を議事録署名人を選任後、平成25年度の事業・決算報告ならびに平成26年度の事業・予算計画が岩野事務局長より上程され、各議案とも出席者の拍手をもって承認されました。

確実に回復軌道に乗ったと見える景気動向を受け、長野県の経済にもようやく明るさが垣間見える状況となっています。こうした中、設立から20周年という節目を迎えるNUPRIは、来春に迫った長野新幹線金沢延伸や善光寺御開帳に焦点を定めつつ、その後に続いていく地域のにぎわい創出や持続的な活性化に向け、本年度も「観光母都市ながの」を活動の基軸とし、より

具体的な施策に着手していくことで合意。長野市長、長野商工会議所会頭・副会頭が、いずれもNUPRI会員より誕生していることも踏まえ、行政や各団体との連携、交流をより深めながら、設立以来の持ち味であるユニークで行動力に富んだ活動を進め、「動くNUPRI」の存在感を向上させていくことを確認しました。

議事に続き、茶臼山自然植物園の再生事業をはじめ長野市内の植物園、公園等の植栽ディレクションや「緑育」活動に精力的に取り組んでおられる園芸研究家・矢澤秀成氏の講演会を開催。市民が関わって進める植物園再生や、人と植物をめぐる興味深いエピソード数々が、一般来場者も含む200名以上の聴衆を魅了しました。講演後は矢澤氏を囲み、なごやかな懇親会が行われました。

※講演内容を抜粋し、次ページ以降に記載しています。

市川理事長 挨拶骨子

日頃、NUPRIの活動にご理解・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。NUPRIは今年11月で設立20周年を迎えます。この20年、長野冬季オリンピック大会の成功と大会終了後の長野の活性化を、企業経営者の集まりならではの視点と行動で支援しよう、と、数々の施策に取り組んできました。

20年といえば人間でいえば成人ですが、設立年の松本空港開港、松本オウムサリン事件、翌年の1ドル79円75銭という超円高による不況の長期化等、激変といっているほどの社会情勢の変化に対応しなが

ら成人を迎えたこととなります。この間、経済的にはずっとデフレ状況が続き、いかに脱却するかが大きな課題でしたが、昨年来、所謂「アベノミクス効果」により、ようやく明るい兆しが見え始めました。来年の新幹線北陸延伸、善光寺御開帳はもちろん、富岡製糸場の世界遺産決定、2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」決定など、「観光母都市ながの」を基軸とする活動の新たな可能性を期待させる要素も出てきています。

一方で、NUPRI自体の収支面においては、赤字体質を脱却していないという厳しい現実に直面しています。20歳を迎え、より積極的な活動を進めていくために、引き続きのご理解・ご支援、ならびに

会員増強にぜひご協力をお願いいたします。

平成26年度事業計画

「NUPRIの活動方針」

昨年度は、長野を「観光母都市」と位置づけて活動の基軸とし、「観光母都市ながの」部会の会員間やNUPRI会員間の会合を重ねる中、多様多岐にわたる具体的活動が提示されました。本年度は長野を起点とした広域観光ルートの新開発、食の魅力開発、季節の魅力発掘、そして、JRR長野駅新幹線ホー

ムでの「信濃の国」メロディーの放送、2015年善光寺御開帳に向けた施策について、それぞれ焦点を定めて活動していきます。

また、〃観光母都市ながの〃部会との連携の中で、「ここ掘れ！調査隊」「門前まち花遊歩」等、イベントのさらなる充実を目指すとともに、「ながのシティプロモーション実行委員会」にも積極的に参画し、市民一人ひとりが自分たちの住む地域に誇りと愛着を深め、「おもてなし」の気持ちを育む教育・情宣活動に本格的に取り組むとともに、観光振興の前提となる地域の安心・安全を確保するため、BCP（事業継続計画）の研究も進めていきます。

また、「わいがやサロン活動」「採れたて野菜市」「りんごの木オーナー制度」の継続や、AC長野パルセイロ応援、2024年ユースオリンピック冬季大会の誘致活動、信越硬式野球クラブ応援活動等の「スポーツ振興活動」にも全会で取り組み、「厚みを増したNUPRI活動」を目指します。

活動の活性化のためには収支・財務基盤の充実がベースであり、会員増強は喫緊の課題です。地域の企業経営者へのPRにも力を入れておりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

〔平成26年度部会・活動部会の事業計画〕

1 〃観光母都市ながの〃部会

〈部会長／市村次夫・副部会長／夏目潔・掛谷嘉朗〉

(1) 基本方針

〈発表／夏目副部会長〉
昨年度提示された具体的活動作の中か



ら、滞在型観光を目指し、①広域観光ルートの新開発、②食の魅力開発、③季節の魅力発掘、④観光案内ボランティア育成への協力、⑤JR長野駅新幹線ホームでの「信濃の国」の放送、⑥来年の善光寺御開帳に向けた魅力ある施策の6項目に焦点を定めて、全力で取り組んでいきます。

①広域観光ルートの新開発

JTBの旅行者動向調査結果による「長野の魅力は善光寺と春夏秋冬の〃自然〃を受け、来春は北信濃の花、残雪の山、善光寺参拝を組み合わせた独自のルートを開発。車利用や新幹線利用のお客様のニーズの違いに合わせて、タクシー・レンタカー会社との連携も強化します。こうした広域観光ルートは、旅行会社に提案するとともに、NUPRIホームページ上でも紹介していきます。

②食の魅力開発

「信州そば」「おやき」「栗菓子」「地酒」等、従来からの特徴をPR強化するとともに、春の山菜など自然食の店にもフォーカスし、「自然〓健康〓長寿日本」の長野の魅力を強調していきます。

③季節の魅力発掘

消費者の多趣味に対応し、高原トレッキング、野鳥観察、善光寺お朝事ほか、四季それぞれの魅力を楽しめる多様な観光ルートを提示していきます。

④観光案内ボランティア育成への協力

本年2月に実施した「NAGANO検定」では622名が合格、そのうち160名が登録ガイドを目指して研修中です。NUPRIでは長野商工会議所が主催する「NAGANO検定実行委員会」に鈴木事務局次長を派遣するとともに、部会としても積極的に意見具申を行い、より質の高いボランティアの養成に協力していきます。

⑤JR長野駅新幹線ホームでの「信濃の国」の放送

県歌「信濃の国」のメロディーを新幹線発着時に流し、〃おもてなし〃にぎわい〓につなげるべく、4月に長野市に要請書を提出しました。今後は、加藤長野市長直轄の「ウェルカム長野2015実行委員会」、長野商工会議所、JC等との連携を図りながら具体化につなげます。

⑥来年の善光寺御開帳に向けた魅力ある施策

前回の参拝者は673万人と前回は45万人上回りましたが、日帰り化、消費単位の減少、滞在時間の減少などが見られました。滞在時間を延ばし、長野に宿泊して楽しんでいただくとともに、御開帳後の再来をうながし、将来的な長野の資産となるような施策を具体化させていきます。

(2) 門前まち花遊歩活動

〈発表／鈴木理事兼事務局次長〉
第3回となる今年度は、10月5日（日）に「表参道秋祭り」とのタイアップで開催を予定し、イベントとしての相乗効果を高めます。参加女性には50名程度とし、次へつながら「ながのの魅力の情報発信源」と位置づけ、メディアの注目を促します。また、4回目を来年の善光寺御開帳の期間中に開催する方向で企画に取り組み始めました。



(3) ここ掘れ！調査隊活動

〈発表／竜野調査隊長〉

本年度は初秋をメドに、「善光寺七福めぐり」「善光寺門前七天神めぐり」等を実際にめぐる街歩きイベントを企画して



七福神巡り 第一番「寿老人」が祀られた刈萱山・西光寺

います。引き続き新たな魅力を発掘し、観光振興の一助としていきます。また、ホームページに掲載するとともに、マスコミにもリリースし長野の魅力の発信、共有化を図ります。

(4) シティプロモーション活動

〈発表〉松本理事兼

シティプロモーション実行委員

本活動の大前提は「シビックプライド」
「住民の一人ひとりが自分たちの住む地域に誇りと愛着を持ち、私たちの住む地域を元気で明るく楽しい、笑顔が絶えない幸せあふれる地域にするため、自らの役割、責任、使命を自覚して主体的に行動することにあります。企画経営者として独自の視点を持つNUPRIとしては、「人づくり」に尽力することを原点到、地域、学校、企業、家庭等、小単位で「寺子屋」を設けることを第一歩に、地道に取り組んでいきます。



(5) 中心市街地活性化活動

〈発表〉清水理事

「中心市街地活性化協議会」（会長・岩野長野商工会議所副会頭）が進める①訪れたくなる街、②住みたくなる街、③歩きたくなる街、④参加したくなる街をコ

ンセプトとした活動に、NUPRIとしての具体的施策を提言してまいります。ことに当部会内の「門前まち歩き花遊歩」「こ掘れ！調査隊」活動と連携し、③を中心テーマとします。



(6) BCP (Business Continuity Plan)

事業継続プラン

〈発表〉掛谷理事

私たちは東日本大震災から、大災害時には地域の住民と連携する中で、地域の住民の生活を守ることが企業や行政組織の事業停滞を防ぎ、早期に正常化することにつながることを学びました。この地域としての安全性は観光客誘致にも欠かせません。行政、諸団体と連携し、BCPにおけるモデル地域設定を行い、災害時



の具体的対応について発信していきます。

2 わいがやサロン活動部会

〈部会長〉岩野彰・副部会長／鈴木隆治

〈発表〉岩野部会長

「わいがやサロン」は現在NUPRI活動の核であり、47回実施し、回を重ねる毎に中味が充実し、会員にとって有意義な勉強（視野拡大）の場となっています。今後とも、会員の皆様との交流機会を増やすとともに、各分野で広範囲に活躍する方々をお呼びし、活動の参考にし、また組織の活性化につなげたいと考えております。この5月には初の取り組みである「拡大版」を実施、一般聴講者も募って100名規模で行いました。今後も多くの会員にご参加いただきたいと考えます。また講師としてふさわしい人をご紹介します。



3 スポーツ振興活動部会

〈部会長〉鷺澤幸一

(1) AC長野パルセイロ応援活動

〈発表〉鷺澤幸一部会長

AC長野パルセイロのJ3昇格を実現

し、さらなる高み「J2」へ。

その夢に向かって、引き続き取り組みを進めていきます。J1基準のサッカースタジアムは来年2月の完成が決まり、来春のJ2昇格が確実に視野に入ってきました。「ホームゲームの1試合平均観客動員数3千人以上確保」が最大の課題となっていますが、5月に長野市営陸上競技場で開催されたホームゲームでは過去最高の8千人強が応援に訪れました。現在、シーズンの約半分を経過し、観客動員数は3240名と3千人を超えています。7月27日、8月10日、8月31日には長野市営陸上競技場で再度ホームゲームが開催されます。ここでの動員が重要になりますので会員の皆様にもご協力をお願いします。また、「小中学生」のホームゲームへの招待を含め、部会としても今後とも全力で支援を強めていきます。



次はJ2へ！

(2) ユースオリンピック（YOG）誘致活動

〈発表〉霜田理事

長野冬季オリンピックの競技施設を持つ優位性ならびに「一校一運動」等、高く評価されてきたソフト面を強みに、長野市への2024年「ユースオリンピック」の誘致を進めていきます。経済効果

優先の考えではなく、将来を背負う青少年の健全な育成、長野ブランドの国内外への発信力強化を目的に推進します。本年度は県、市、関係市町村、JOCと連携を強めながら具体的行動に移ります。



(3) 地域野球クラブ「信越硬式野球クラブ」

の応援活動

〈発表／河口専務理事〉

「信越公式野球クラブ」は「電電信越」「NTT信越」として「都市対抗野球大会」に14回出場の名門社会人野球チームでしたが、平成11年、企業チームから地域クラブに変更しました。市内各企業からも選手を集め、チームを組成している全国唯一の「地域野球チーム」として、全国からも注目を集めています。本年度からNUPRIのスポーツ振興活動に加え、応援していきます。

4 新産業創出部会

〈部会長／竹内伊吉・副部会長／掛谷嘉則〉

(1) 基本方針

〈発表／竹内部会長〉

産学共同による新産業創出を研究し、引き続き地域の農業特性を活用して事業化

を推進します。農協再編、TPPなど、農家を取り巻く環境を見据えながら、地域の農業を基幹産業ととらえ、活性化に導いていきたいと考えます。また中期的には団塊の世代の余暇時間の増大等を考慮し、滞在型観光の視点から地域資源として農業を「体験」「安全・安心」「自然豊かな環境」という視点からも提案していきます。



(2) 採れたて野菜市の継続、拡大

〈発表／竹内部会長〉

ここまで継続してきた事業を発展させ、「野菜の育成過程」「露地物故の季節感」「生産者の顔」を具体的なものとしてアピールするためのサイトを作るとともに「採れたて野菜市の会」立ち上げ具体化に向け、検討を進めます。また今年度は、常設看板、当日PR用の白板設置などを行う予定です。昨年4月に開始した県外への宅配便取り扱いについては、今後、野菜のレシピのデータベース化等一層のサービス向上や消費者との会合を開催し、より身近な「採れたて野菜市」にする計画です。課題である加工品の販売については「農商ユニオン」が具体的実行案の策定に入っています。

(3) りんごの木のオーナー制度の継続

〈発表／竹内部会長〉

引き続き「りんご三兄弟」拡大を目指しながら、オーナー制度を継続させていただきます。また、りんごの受粉、摘花、摘果等生育・作業過程なども適宜お伝えする中で、長野の自然と大きく関係することをメールやサイトで発信し、原点に立ち戻ってオーナーに理解を求めていく考えです。収量等の限界や、オーナーの収穫日が徹底されないなど、農家である宮本さんの負担が大きくなりつつあることも検討課題としてあり、収穫祭の参加はNUPRI会員およびその紹介者にしほり、他は直売にするなどの方針を検討しています。周辺農家への拡大、飯綱町との連携などを模索中です。

(4) 自然農法の研究、啓蒙

〈発表／竹内部会長〉

自然農法を実践している部会メンバーの協力を得て、引き続き一緒に勉強し、過疎地域、限界集落地域の再生、活性化に生かし、地域おこしができるよう行政への働きかけをしていきます。

(5) 中山間地の活性化

〈発表／竹内部会長〉

長野市での中山間地の活性化に向けて提言を行うとともに、具体的な施策の提言と実行に向けた中期の計画を作成していきます。

5 20周年記念事業の実施の検討

〈発表／河口専務理事〉

来年度は新幹線の北陸延伸や善光寺御開帳を控え、長野にとって「エポックイヤー」になることから、観光母都市ながの部会の活動と連携した20周年記念イベントや記念講演会等の実施を検討しています。皆様が全員が合意する事業を検討していきます。

